

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 先 第 446号	氏 名	董 学温
審査委員	主査 山中 英生 副査 小川 宏樹 副査 奥嶋 政嗣		
学位論文題目 地方都市における行政サービス施設の配置と運用の評価に関する研究 —徳島市支所を対象として—			
審査結果の要旨 <p>本論文は、徳島市の行政サービス施設を対象として、住民側の観点から効率性と公平性の両面から施設の配置と運用を評価することを目的としたものである。</p> <p>このため、行政サービス施設の配置と運用に関する既往研究の知見を整理した上で、その評価方法を提案している。評価方法については、効率性だけでなく、複数の観点からの公平性の計測といった特徴がみられる。評価指標については、居住地から施設までの移動時間と施設での待ち時間を合わせた所要時間に基づいて構成されている。また、費用削減の評価指標についても定式化されている。</p> <p>施設配置の評価に関しては、現存14支所を対象として、施設廃止についての影響が推計されている。公平性に関して、支所別のジニ係数と最大偏差の比較により、最大偏差でだけでは不平等さを測定できない面があることを明確にしている。また、中心部支所を対象とした廃止では、効率性重視と公平性重視では支所廃止の順位付けが異なり、重要視すべき点を十分に議論する必要性が示されている。</p> <p>施設運用の評価に関しては、情報化による施設利用者数の変化に対応した職員減員の影響についても評価されている。このとき、コンビニエンスストアと施設の配置に基づいて、マイナンバーカード交付率に対応した証明書発行のメッシュ別利用者数の減少が推計可能とされている。また、キャッシュレス決済普及率に応じて、公平性が向上することが明確にされている。情報化進展時には、10支所での減員でも情報化前の効率性は維持可能であることが示されている。</p> <p>以上本研究は、地方都市における行政サービス施設の配置と運用を評価するにあたり、有用な知見を与えるものであり、本論文は博士（工学）の学位授与に値するものと判定する。</p> <p>なお、本論文の審査には、渡辺公次郎准教授の協力を得た。</p>			